

**AN UNLIKELY
FRIENDSHIP**

「奇跡」 の物語

**By Dave Hirschman
AOPA Pilot Editor at Large**

Translation by
Koji Ishihara, AZP Volunteer

Final Japanese Edit by
Makiko Maeda AZP Member



オリジナルAOPA WEBSITE (動画あり)

Theirs is an unlikely FRIENDSHIP

生まれ育った文化や言語、時代背景の違いを超え、この二人の友情は生まれた。互いの空への情熱がオンラインでつながる。一生に一度出会えるかどうかの「奇跡」の物語がここにある。

今年65歳の元エアラインパイロット、エイコンと、41歳で日本育ち、ボーイングの生産アナリストの前田には二人が互いに驚くほどの共通点がある。

例えばアメリカの大学でエンジニア学位を取得、子供のためなら努力を惜しまない両親を持ち、さらには二人とも10代後半の時にオートバイ事故に遭遇している。当時の事故によりエイコンは前腕に鉄板が入っているし、前田は右目を失明した。極め付けは二人とも1960年代に製造されたBeechcraft Bonanza P35型を所有している。

「二人の共通点の多さは信じられないよ」とエイコンは語る。「私たちは二人とも空を飛ぶ志を支えてくれた両親、そして固い絆で結ばれた家族がいる。しかも“初飛行”は車にはねられ、飛んだってことだ（笑）。僕とシンジとの相性は抜群だよ」

経歴の他にも、二人は性格も酷似している。恐ろしいほど楽観的で、冗談を絶やさない、そして誰もが簡単にできないような目標を追いかける勉強家だ。

エイコンは2016年に自身のボナンザで世界を一周しているし、この業界で初めて医療用ボアスコープを使ったピストン飛行機の検査法を発明するなど、メカニックの一面も併せ持つ。一方、前田は自身の障がいの克服体験を伝える講演活動や若者のために飛行体験を提供する非営利団体の代表を務めている。今年始まる彼の世界一周フライトミッションでも、世界中の人に目の前の困難を乗り越え、挑戦する姿を見せる予定だ。



Photo at Light Speed Aviation at 2019 OSHKOSH

彼らは二人ともユーモアにあふれている。例えばエイコンは面白おかしい話をシェアしてくれるし、前田は自身が片目であることをネタに周囲を笑わせる。二人は自分たちの経歴を見せびらかすことは一切せず、「今があるのは周囲の人たちのお陰だ」と口を揃える。

エイコンは自身の航空キャリアを「たまたまいいタイミング」だっただけと言い、前田は彼の教授、エド・ウィッシュマイヤーが彼のやる気に気づき、パイロットになれると信じさせてくれたことによって今があり、彼に命を救われたといっても過言ではないと強調する。

「自分の交通事故の後、私は障がい者というレッテルを貼られました。空を飛ぶどころかまともな職にもつけない、と。自分が家族の重

荷になることを考えただけで嫌だった。だから自殺することさえ考えた。当時18歳だった自分に、生きる希望は全くなかった」と前田は当時の胸の内を明かす。

前田の父はアメリカならまだ障害があっても飛べる可能性があるを知り、息子に留学を勧めた。渡米後、アリゾナ州にあるエンブリーリドル航空大学に進学し、2004年にパイロットの資格を取得した。今では飛行時間1300時間を越え、水上飛行機のライセンスも取得、フライトインストラクターを勤めるまでになった。結婚もしており、3歳の息子と0歳の娘と生活している。

「アメリカは僕にもう一度生きるチャンスを与えてくれた。もし日本に残っていたら僕はこの世に存在しない」



"Lucy"- N9787Y and "Gina" -N1733G



2016年、前田はエイコンの世界一周フライトの記事を見つけるとすぐに技術的かつ専門的な内容の質問メールを送った。「ボナンザで世界一周した彼の経験を自分が将来同じボナンザで世界一周するときに活かせると思った」と前田は言う。世界一周達成後、エイコンは多くの問い合わせを受ける様になっていたが、その多くの返答は「君にはまだ早い」という簡単でそっけないものが多かった。

「空を飛ぶのは意外と簡単だ。特にGPSを使えば尚更」とエイコンは言う。ところが世界一周飛行となると、話は別だ。まさに忍耐、知力の持久戦となるマラソンのような世界なのだ。

They independently chose nearly identical airplanes for the journeys with similar engines and tip tanks—but the tip tanks in Eichhorn’s airplane are larger. Both are trained engineers and enjoy delving deeply into the technical aspects of long-distance flying.

疲労が溜まっていく中で、世界一周を達成するには経験に基づいた判断力が不可欠だ。遠い異国の空で、難解で混乱する様な状態に陥ったときでも発揮できる判断力をまず培わなくてはならない。だから彼は大体の人たちに「もっと経験を積んだ方がいい」と伝える。

エイコンは前田の飛行経験よりも綿密な計画が練られていることに感心したと言う。前田は全米でも指折りのメカニックと共に使用機体の改修作業を既に進めていた。300馬力のエンジン搭載、最新鋭のエンジンモニタリングシステム、2台のGPS搭載など、装備品を見れば『その覚悟が本物だ』とよく分かる。さらに前田は外国の飛行ルート、入国手続きなどを専門に請け負う会社もすでに見つけていた。

BONANZA BUDDIES

“ボナンザ師弟”

前田にとって、このミッションフライトはただの自己満足のためではない。彼には人に伝えたいメッセージがある。

「このフライトは自分のためではありません。夢、目標を追いかける姿を見てほしい。人は皆、大なり小なりの問題を抱えて生きている。僕もその一人だし、それを克服し前進することができることを知ってほしい。」

前田の父は北海道で農家をしていて、2017年にがんで亡くなった。父は息子の事故と大怪我からの克服と今までの努力を誇りに思うからこそ、その経験談を世界の人々に伝えようと息を引き取る直前に前田に言い残した。それが息子に対する最後の言葉だった。

「父は私が大学病院に入院していた時に何もできなかったことを申し訳なく思うと謝っていましたが、僕も僕も謝ることはないと言いました。」

どんな時でも自分のそばにいてくれた父や母、家族に感謝するからこそ、この世界一周フライトには意味があるのです。そんな父のために僕は飛びます。」

「パイロットは疲労や焦り、気持ちが散漫な時に間違いを起こす。シンジはそういうことを理解し、そういった要因を加味した上で今回のミッションフライトの計画を立てているんだ。」前田の全行程、無理をしない飛行計画を見て、エイコンは賢明な判断だと言う。



Long-distance Bonanza fliers Shinji Maeda (left) and Adrian Eichhorn (right) have an easy, off-beat rapport that comes from a shared goal of globe-spanning flights.



The two friends plan to coordinate the transatlantic portion of their flights—but they'll go their separate ways after Iceland.

エイコンと前田が始めて会ったのはシアトル。エイコンは前田が使用する機体の改修現場に立ち寄り、その内容が長距離飛行に適していると確信した。そして2020年、テストフライトを兼ねて彼が住むバージニア州に招待した。

前田はその際11時間を1回の燃料給油で飛んだ。

「自分の飛行機で1日8時間以上を飛んだのは初めてでしたが、ほぼ完璧にいきましたね。西海岸のワシントン州から東海岸へ飛ぶことはもちろん、ワシントンD.C.内は初めてで、自分の日本語アクセントの英語でもちゃんと管制官に伝わるか心配だったので少し緊張したんですけど大丈夫でした（笑）僕がどれだけアメリカの航空システムを愛しているかはもう話しましたっけ？（大笑）」

BLESSING IN DISGUISE

-災い転じて福となす-

前田は元々2020年の夏に世界一周フライトに出発するはずだったが、新型コロナウイルスの世界的パンデミックによりやむを得ず1年延期した。しかし、前田はこの逆境も好機ととらえ、「飛行機の整備やテストをする時間ができた。延期のおかげで時間からのプレッシャーがなくなった」と振り返る。

実はこの延期により前田は米国出発から数日間、エイコンと一緒に飛ぶことになる。エイコンは自身のボナンザで北極の上を飛ぶミッションフライトを計画しているからだ。エイコンと前田は5月5日にAOPA本部を共に出発しアイスランドまで飛行を共にする。前田はそこからヨーロッパ、アジア、太平洋を越えアラスカへ渡り、そして帰着。エイコンはアイスランドから北極を越えてカナダ、そしてアメリカへ戻ってくる。

「二つの偉大なミッションフライトのスタートと一緒に切れるのは素晴らしことだ。シンジは友達だから、地球の裏側だって助けに行くよ。それが友達ってやつだからね」とエイコンは話す。





AOPATM

your freedom to *fly*